

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第155号



ニュースピックアップ 2013/08/12

米軍ヘリ墜落事故調査団として沖縄へ

民主党は今回の事故を重く受け止め、12日に現地調査団を派遣。在沖米国総領事館で行われたマグルビー在沖米国総領事との会談には、在沖嘉手納空軍基地第18任務支援中隊のフィル・ヒメネス副部長も同席し、広田ネクスト防衛大臣から「原因究明再発防止」「オスプレイの岩国から普天間への移動再開への抗議」などの要請を行った。

 weblog アメブロ <http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>
 web site ウェブサイト <http://takemasa-k.jp/>
 twitter ツイッター @takemasakoichi
 facebook www.facebook.com/takemasatoday

社会保障三党実務者協議対応 8月5日

昨年の三党合意を踏まえ、社会保障制度改革の積み残し課題について三党実務者協議を行ってきました。この夏までに、後期高齢者医療制度や年金の抜本改革について結論を出すという内容に沿わない協議でした。

そのような中、社会保障制度改革の国民会議は最終提言をとりまとめましたが、三党合意を踏まえた内容にはなっておらず、民主党はこの内容に関して責任を共有することはできないため、社会保障実務者協議には応じないことにしました。

一方、三党合意を踏まえた協議に与党が応じるのであれば協議の場に戻ることは党として明らかにしています。

麻生副総理のナチス発言は容認できず 8月2日、8月7日

去る7月29日東京都内で行われたシンポジウムで麻生副総理の発言は3つの意味で問題です。

- ①歴史認識が誤っている
- ②ナチス容認と内外に誤解を与える
- ③「憲法改正は数の力で通せば良い」とは、民主主義の否定に繋がる

の3点です。特に、憲法審査会幹事懇談会では③を取り上げ、保利耕輔会長から副総理に申し入れ「申し訳ない」との報告を受け、引き続き予算委員会などで発言の真意を質す審議を求めています。

財政再建の方向性はあいまい 8月8日

政府は8日に中長期の経済財政に関する試算を閣議了解しました。

2015年度までの対GDP比半減の目標達成に向けては2015年度に国・地方合わせた基礎的財政収支を2013年度から17兆円程度改善する必要があり、国の一般会計では2014年度及び2015年度の各年度4兆円程度改善が必要だとしています。

2015年度	2010年度に比べ赤字の対国内総生産(GDP)比を半減
2020年度	黒字化、その後の債務残高対国内総生産比の安定的な引き下げを目指す

また、「今年半ばまでに」と財務大臣が国会で答弁しながら参議院選挙後、財政再建の「試算」発表になったのは極めて遺憾であります。

くわえて2014、15年度の新規国債発行額を前年度(13年度は42.9兆円)以下に抑える目標を打ち出す一方で、歳出上限がない点や、デフレ脱却を優先し、税収増に伴って歳出を拡大する余地が残されており実現性は不透明であります。

民主党前政権下では政策経費を「71兆円以下」、新規国債発行額を「44兆円以下」に抑える目標を掲げていました。

米軍ヘリ墜落事故調査団として沖縄へ 8月12日

沖縄県宜野座村の米軍基地キャンプ・ハンセン内で米軍ヘリが8月5日(月)



午後4時頃に墜落し、米軍1人が死亡した事故に関して、民主党は今回の事故を重く受け止め、12日に現地調査団を派遣し武正議員も調査団の一員として現地視察しました。

在沖米国総領事館で行われたマグルビー総領事との会談では

哀悼の意を示した上で、以下の申入れをしました。

- ①事故原因の徹底した原因究明と速やかな情報提供を求める。
- ②実効性ある再発防止策、一層の安全管理の徹底を期するよう求める。
- ③事故機と同型機の当面の飛行運用の停止について、その再開には、地元住民の安全確保に最大限配慮した上で決定するよう求める。
- ④本事故を受けて、オスプレイの岩国飛行場から普天間飛行場への移動が延期された。これは当然の措置と考える。地元住民の強い不安の中で、現状、拙速な移動は行うべきではない。オスプレイの運用について、安全確保に最大限配慮するよう求める。



夏休み親子国会見学会8月7日、23日

夏休みの自由研究として毎年好評の親子国会見学会、今夏は2度に渡って開催し、100名以上の皆様にご参加頂きました。

当日はガイドの説明を聴きながら議事堂内を見学。議員食堂での昼食をはさんで午後からは、たけまさ学生インターン生の企画による名刺交換会や国会クイズなどのレクリエーションを武正代議士と共に楽しみました。

たけまさ公一後援会主催 第19回武正杯ゴルフコンペ 2013年10月28日(月) 大宮国際カントリークラブ 参加費5,000円お申込は武正事務所まで

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともに より良い地域を実現します
民主党埼玉県第1区地方議員並びに県政・市政担当者

浅野目 義英



県議・浦和区
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事
長／議会運営委員／次
世代人材育成・文化・スポ
ーツ振興特別委員会

井上 将勝



県議・見沼区
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会／福
祉保健医療委員会／次
世代人材育成・文化・スポ
ーツ振興特別委員会

神崎 功



市議・緑区
昭和30年生まれ
さいたま市議会副議長、民主
党さいたま市議団顧問／民主
党埼玉県連副代表／総合政
策委員会／予算委員会

高野 秀樹



市議・岩槻区
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団
長／議運委員会
地下鉄7号線延伸事業化
委員会副委員長

三神 尊志



市議・見沼区
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会委員長
／地下7号線延伸委員会／予
算委員会委員

小柳 嘉文



市議・浦和区
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
見沼田圃将来ビジョン委員
会／市民生活委員会／決算
行政委員会

武田 和浩



市議・見沼区
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
まちづくり委副委員長見
沼田圃将来委員

松岡 耕一



緑区・県政担当
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総
支部幹事

石田 昌生



緑区・市政担当
昭和35年生まれ
民主党埼玉県第1区総
支部幹事

たけまさ公一プロフィール.....昭和36年(1961年)生まれ
...さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
.....平成元年、松下政経塾卒業 平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選
.....平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選

【内 閣】前財務副大臣／元外務副大臣

【衆議院】財務金融委員会委員／憲法審査会会長代理／青少年問題特別委員会委員

【民主党本部】総務委員長／税制調査会副会長 【民主党埼玉県連】代表代行

たけまさ公一事務所

●浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階 TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846
●岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL 048-749-6801 FAX 048-749-6802
●国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312 TEL 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715
皆様のご意見・ご要望をお待ちしております メールアドレス voice@takemasa-k.jp